

豊島区地盤資料の見方

豊島区地盤資料

整理番号：南長崎6-21-026

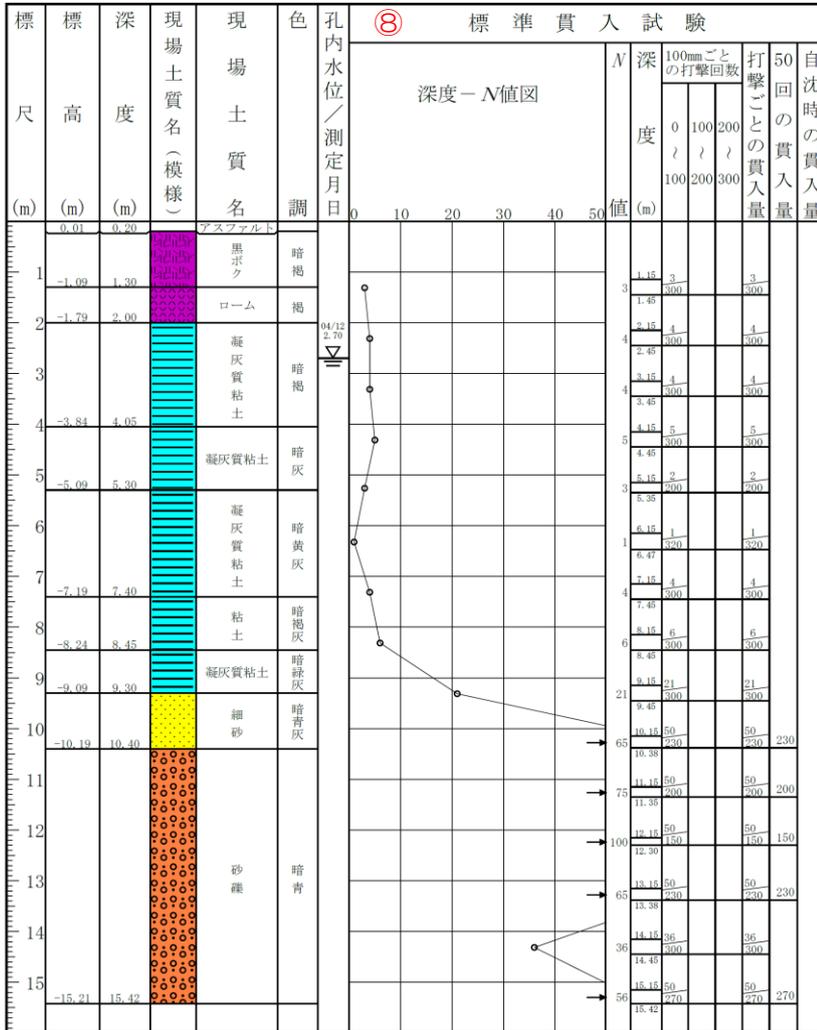
調査年：1994

所在地：豊島区南長崎六丁目21番付近

孔口標高(m)：KBM+0.21

※ この資料は、区内で建設されるための地盤の状況を確認するための参考資料です。
位置情報については、おおよその位置を示したものととなります。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



土質分類記号			
礫質土	微粒砂	粘土	軽石
礫	粘性土	シルト	ローム
粗礫	硬質シルト	粘土	黒ボク
中礫	硬質粘土	硬質粘土	瓦礫
細礫	粘土	硬質粘土	盛土
砂礫	硬質粘土	硬質粘土	埋土
砂質土	腐植土	腐植土	表土
粗砂	腐植土	腐植土	コンクリート
粗中砂	有機質土	有機質土	固結粘土
中粗砂	有機土	有機土	固結シルト
中砂	黒泥	黒泥	凝固シルト
中細砂	黒土	黒土	砂岩
細中砂	土丹	土丹	シルト岩
細砂	玉石	玉石	泥岩
微細砂	浮石	浮石	軟岩

補助記号1		補助記号2	
玉石混じり	礫混じり	砂質	砂質
砂混じり	シルト混じり	シルト質	粘土質
粘土混じり	府植物混じり	有機質	火山灰質
火山灰混じり	貝殻混じり		

用語の説明

- ① 標尺(m)：基準となる長さを 1m 単位の主目盛と 100mm 単位の補助目盛で表示
 - ② 標高(m)：地層境界面の標高（標高基準（孔口標高）が AP あるいは TP 以外は相対標高）
 - ③ 深度(m)：地層境界面の地表面からの深さ
 - ④ 現場土質名（模様）：土の種類を記号で表現したもの
 - ⑤ 現場土質名：土の種類を名称で表現したもの（土質分類記号と補助記号を参照）
 - ⑥ 色調：調査が行われた時の土の色を表現したもの
 - ⑦ 孔内水位／測定年月：孔口（地表面）から地下水位までの深さ／水位を測定した年月
 - ⑧ 標準貫入試験：土の相対的な硬さ、締まり具合などを表わす N 値を求めるための試験（JIS A 1219）
 - 深度-N 値図：測定深度と N 値の関係を折れ線グラフで表したもの
 - N 値：63.5kg の重錘を 760mm の高さから落下させ専用サンプラーを 300 mm 貫入させるのに必要な打撃回数
 - 深度(m)：標準貫入試験の測定深度区間（開始深度～終了深度）
 - 100 mm ごとの打撃回数：貫入量 100 mm ごとの打撃回数（貫入量 100 mm 以外の場合は分母に貫入量を表示）
 - 打撃ごとの貫入量：総打撃回数／総貫入量
 - 50 回の貫入量：打撃回数が 50 回の場合の貫入量（打撃回数が 50 回以上の場合に記載）
 - 自沈時の貫入量：自沈（打撃しないで専用サンプラーが貫入する状態）した場合の貫入量
- 柱状図様式は「ボーリング柱状図作成及びボーリングコア取扱い・保管要領（案）・同解説（平成 27 年 6 月）：ボーリング柱状図標準化小委員会」の「第 5 編 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験用）」を参考として作成しています。